

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0130	2,0070	2,0040	2,0130	2,0250	+0,0120
	USD/YEN	Spot	99,33	98,99	98,96	100,64	101,62	+0,9800
Swap	EUR/USD	Spot	1,3076	1,3080	1,3155	1,3037	1,2978	-0,0059
	BRL/YEN	Spot	49,42	49,30	49,36	50,00	50,31	+0,3100
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,23	1,90	1,26	1,32	1,30	-0,0136
		1Year(p.a.)	1,39	1,72	1,35	1,41	1,43	+0,0220
Real Interest	6MTH(p.a.)	7,80	7,77	7,80	7,80	7,85	+0,0480	
	1Year(p.a.)	8,00	7,95	7,98	8,00	8,08	+0,0851	
Stock	Bovespa		55.430	56.275	55.805	55.448	55.108	-339,76
Bond	CDS Brazil 5y	105,88	106,95	109,00	108,70	111,14	+2,4380	
	Global 40	122,625	122,625	122,625	122,000	121,750	-0,2500	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
IGP-M Inflation 1st Preview (5月)	0.05%	0.03%	0.42%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0090 で寄り付いた。
- 週初は 3 月の独製造業受注が予想に反して増えたことや、欧企業の第 3 四半期決算が予想比良好な結果となったことが好感され、欧米株式市場やユーロが大きく買われると、レアルも連られて 2.01 台を上抜け上昇した。
- 8 日には 3 月の独鉱工業生産が予想を上回る増加、米株式市場の上昇やユーロの続伸に連られてレアルにも買い圧力が強まり、2.000 を上抜け続伸した。
- 9 日には大口の資金流入の噂からレアルは一気に急進し、週間高値となる U\$1=R\$1.9950 を付けた。しかしその後、米フィラデルフィア連銀のプロッサー総裁の FOMC での債券購入ペースの減速開始決定に関するコメントを受けて対主要通貨でドル買いが強まり、レアルも一気に 2.01 台半ばまで反落した。
- 10 日は対主要通貨でドル買い圧力が引き続き強く、レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.0300 を付けた後、結局 U\$1=R\$2.0250 でクローズした。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生じるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
5/13	貿易収支(FOB)-週次	May 12	--	\$409M
5/15	小売売上高指数(前月比)	Mar	-0.6%	-0.4%
5/15	小売売上高指数(前年比)	Mar	3.6%	-0.2%
5/15	広義小売売上高(前年比)	Mar	2.3%	1.2%
5/16	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	May	-0.05%	0.18%
5/16	FGV CPI IPC-S	May 15	0.41%	0.45%
5/17	FIPE消費者物価指数(週次)	May 15	--	0.31%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 1.98-2.05

今週は外部要因による影響として欧米企業の決算発表や経済指標が予想を上回る展開となり、世界的にリスク資産への買いが見られた。レアルも 2.00 台を上回る水準まで買われたが、米 FOMC での債券購入ペースの減速に関するコメントから一気にドル買いが強まり、レアルも 2.0300 まで反落した。来週にかけて欧米では景況指数や GDP 成長率の発表を中心に入注され、ユーロ圏では追加刺激策に関する詳細、米国では QE に関する詳細が発表される可能性がある。経済成長の衰えから多くの国が利下げを行う中、米国のみが QE ペースを減速する可能性は低いと想定され予想外な展開がない限りは対主要通貨でのドル買いは限定的となろう。その結果、レアルを含むリスク資産への影響も限定的となろう。国内での主要イベントは特段予定されていないが、レアル相場が前回の介入ポイントである 2.0300 レベルに至ったことから政府・中銀高官のコメントには注目する必要があり、急激な相場の変動には引き続き注意する必要があろう。